

高齢者・障がい者「暮らし何でも応援団」

全国権利擁護支援ネットワーク事務局
特定非営利活動法人 PAS ネット

第二団活動日誌

■応援団スタッフ（5名）

法律職：高森裕司 福祉職：田辺寿、今井友乃、上田美智子 事務局：谷仁

■12月12日(月)

○16:00～18:00 「暮らし何でも勉強会」（参加者：11名）

救護施設「松山荘」（岩手県社会福祉事業団）職員、レインボーネット、応援団スタッフが参加。最初に松山荘の深野さんより「平成23年度岩手県被災者等自立支援事業」（平成23年10月末～）について、事業の概要や具体的な内容等の説明がありました。ただ、対象者となる「被災者等生活困難者」（仮設住宅及び自宅避難者等で支援がなければ路上生活に陥る恐れのある人）が確保できない、相談の掘り起こしが必要であるなど事業の根本の課題も挙がりました。

次に、高森さんから、愛知県弁護士会の貧困問題に対する取り組み（野宿者総合法律相談、東海生活保護利用支援ネットワークなど）について、これまでのご自身の実践を基に紹介がありました。「アウトリーチ型」の相談形態が求められること、何を相談していいのかわからない人が多い、とのコメントが印象的でした。

最後に、参加者全員で上記テーマについて意見交換を行いました。



■12月13日(火)

○10:00～12:00 「暮らし何でも研修会」(一般参加者:18名)
テーマ:消費者被害
会場:宮古地区合同庁舎

最初に、消費者被害に関する演劇イベントの映像を上映。催眠商法、マルチ商法、キャッチセールスの手法をみなさんにご紹介しました。その後、応援団スタッフによる高額布団の訪問販売の実演を行い、続いての実演には出席者の方にもご参加いただき、みなさんにより身近に感じてもらうことができました。その上で、このような悪徳セールスの断り方や事後の対処法である「クーリングオフ」について、高森さんが解説を行いました。

最後に、伊賀市社協のパンフレット「悪徳商法に注意!!」を用いて、他の商法や被害を防ぐためのポイントについて、田辺さんが紹介しました。

また参考資料として、(財)消費者教育支援センター製作の「障害者の消費者トラブル 見守りガイドブック」を配布しました。



○14:00～16:00 「暮らし何でも研修会」(一般参加者:27名)
テーマ:成年後見制度
会場:山田町保健センター

最初に、久万高原町社協の権利擁護支援に関する取り組みをまとめたDVDを上映しました。続いて、東京法規出版の成年後見制度に関するパンフレットを用いて高森さんが成年後見制度について解説を行いました。その後、今井さんより知多地域成年後見センターの、上田さんよりPASネットの制度活用事例(法人後見、法律職との複数後見など)について紹介がありました。

最後の質疑応答で出た質問・意見を以下に挙げます。

- ・年金のみの方がこの制度を利用できるのか?
- ・任意後見について詳しく知りたい
- ・知的障害者の親亡き後問題について、もっとニーズを拾ってほしい



■12月14日(水)

○10:00～11:15 個別相談会① (相談者:T.T.さんの妻)

T.T.さんは高次脳機能障害を有している。

はあとふるセンターみやこ(1F会議室)にて、応援団スタッフ3名が応対しました。



レインボーネットの皆様、そして応援団スタッフ・第二団の皆様、本当にありがとうございました！

(文責：特定非営利活動法人PASネット 谷 仁)